

迷ってしまいそうな ごみの分別方法などを紹介します。

家庭ごみの分け方・出し方 Q & A

問い合わせ先 ● クリーンセンター ☎ (93) 4529 ● 環境課リサイクル推進班 ☎ (93) 4946



自分の地区の収集日は、今号に折り込まれている分別収集日程表や市ホームページで確認してください。

可燃ごみ編

Q 庭の草刈りをした草は、可燃ごみの袋に入れて出せますか？

A 刈った直後の草は燃えにくいので、乾かしてから土をよくはたき、可燃ごみとして出すことができます。なお、クリーンセンターへ直接搬入するときは、中身を確認できる透明な袋に入れてください。

ひとくちメモ

家庭から排出されるごみで一番多いのが「生ごみ」で、その約80%が水分と言われています。水切りをすることで、ごみの減量化や悪臭・腐敗の防止につながりますので水切りにご協力ください。



【水切りのポイント】

- 野菜の皮は洗う前にむき、水分を含んだものとは別にザルに入れるなど、濡らさないようにする。
- 茶がらやティーバッグなど、水分を多く含むものは水気をしぼる。
- 野菜くずや茶がらなどは、できるだけ乾燥させてから捨てる。

不燃ごみ編

Q 塗料缶・スプレー缶・ガスライターの中身が残ったまま出せますか？

A 出せません。塗料やガスなどが入っている缶は、中身を使い切るか取り除いてから（塗料などを染み込ませたポロ布などは可燃ごみとして）、ガスライターは使い切ってから出してください。

ひとくちメモ

スプレー缶の中身が入っていると収集時などに爆発する恐れがあり、大変危険です。作業員の安全確保のため必ず使い切り、穴を開ける場合は必ず火気のない屋外で行ってください。

有害ごみ編

Q 使えなくなった乾電池や蛍光灯はどのように出したらよいですか？

A 乾電池と蛍光灯はガラスびん・ペットボトルの収集日にごみ収集場所に出すことができます。指定袋はありませんので、乾電池は透明な袋などに入れ、蛍光灯は購入時の箱などに入れて割れないように出してください。

粗大ごみ編

Q 電池を使用しているプラスチック製のおもちゃなど、材質が混合されているものは、どうして粗大ごみになるのですか？

A 「プラスチックと鉄」や「木と鉄」などの混合物は、材質ごとに分けてリサイクル処理するために、粗大ごみの扱いにしています。

Q 針金・電気コード・ハンガーはどうして粗大ごみになるのですか？

A 機械に絡みやすく、故障の原因になるため、粗大ごみの扱いにしています。

ひとくちメモ

粗大ごみは収集場所に出せません。個別収集(有料)を申し込むか、クリーンセンター(100kgまで無料、超過分は有料)に直接搬入してください。

その他

Q 住んでいる所の近くに、ごみ収集場所がない場合は、どのようにすればいいですか？

A 新規に「ごみ収集場所」を設置するには、原則として3戸以上の家庭で利用することを条件に設置できます。詳しくはクリーンセンターへ問い合わせてください。

ごみの減量化にご協力を

市では、ごみの減量化のため、資源回収運動と生ごみ堆肥化を推進しています。資源回収運動や生ごみ堆肥化は、資源の有効活用や、市のごみ処理経費の削減にもつながります。

環境課リサイクル推進班 ☎ (93) 4946

資源回収運動に参加しましょう

資源回収運動とは、皆さんが一定の日時や場所を決めて、リサイクルできる資源物を持ち寄り、直接業者へ回収してもらう運動です。

- 資源物
- 段ボール
- 飲料用紙パック
- バックージーパー(お菓子箱、紙袋など)
- 衣類
- シーツ
- 毛布
- 飲料用アルミ缶
- ビール瓶
- 一升瓶(緑、茶色酒瓶)

■ 利用方法

資源回収運動を利用するときは、市環境課で最寄りの資源回収団体を紹介します。

■ その他

資源回収団体(区、自治会、子ども会、PTAなど)に対し、回収量に応じて奨励金を交付しています。新規団体の登録も随時受け付けています。

生ごみ堆肥化容器の購入費の一部助成

対象 次の全ての要件を満たす人
○ 市内に住所を有し、かつ、居住している(事業所などの法人を除く)
○ 容器などを設置する場所がある
○ 容器などを適正に維持管理できる

- 堆肥を自家処理できる
- 容器の種類・助成金額など
- 堆肥化容器・コンポスト
- 購入費の2分の1、
1基当たり限度額 3千円
- 電気式生ごみ処理機
- 購入費の2分の1、
1基当たり限度額 2万5千円
- ※助成金額は100円未満切り捨てで、1世帯に対する年度内の助成金額は、2万5千円が限度です。
- ※電気式生ごみ処理機の申請は、交付を受けた日から5年を経過しなければ、再び申請することはできません。ただし、「故障して使えなくなった」などの理由は除きます。

■ 持ち物

領収書、カタログ(コピー可)、印鑑、通帳

■ その他

申請後に職員が設置状況の確認に訪問します。

道の里親アダプトプログラム

アダプトプログラムとは、市民や事業所の皆さんが一定区間の道路の里親になって、清掃・美化活動を行う制度です。

現在、約1,100人の「道路の里親」が活躍しています。登録は随時受け付けていますので、詳しくは問い合わせてください。



アダプトくん
市アダプトプログラム
マスコットキャラクター

環境課リサイクル推進班 ☎ (93) 4946

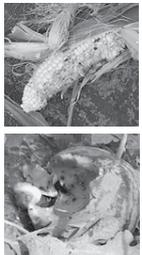
有害鳥獣の捕獲を実施します

市では、農作物に被害を与える有害鳥獣の捕獲を次の期間に行います。獣類は箱わなによる捕獲を行い、鳥類は銃器による捕獲を予定しています。

なお、銃器による捕獲の日程など詳しくは、対象区域への回覧でお知らせします。

■ 実施予定期間

4月1日(金)~10月31日(月)



被害を受けたアノモロシメシカ

農政課土地改良班 ☎ (93) 4944